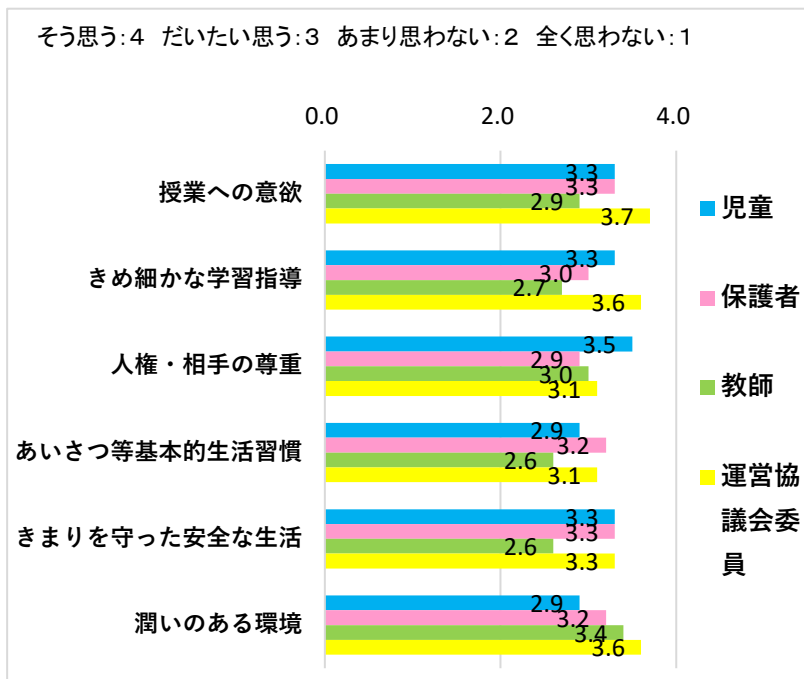


令和4年度（前期）学校評価結果

球磨村立一勝地小学校

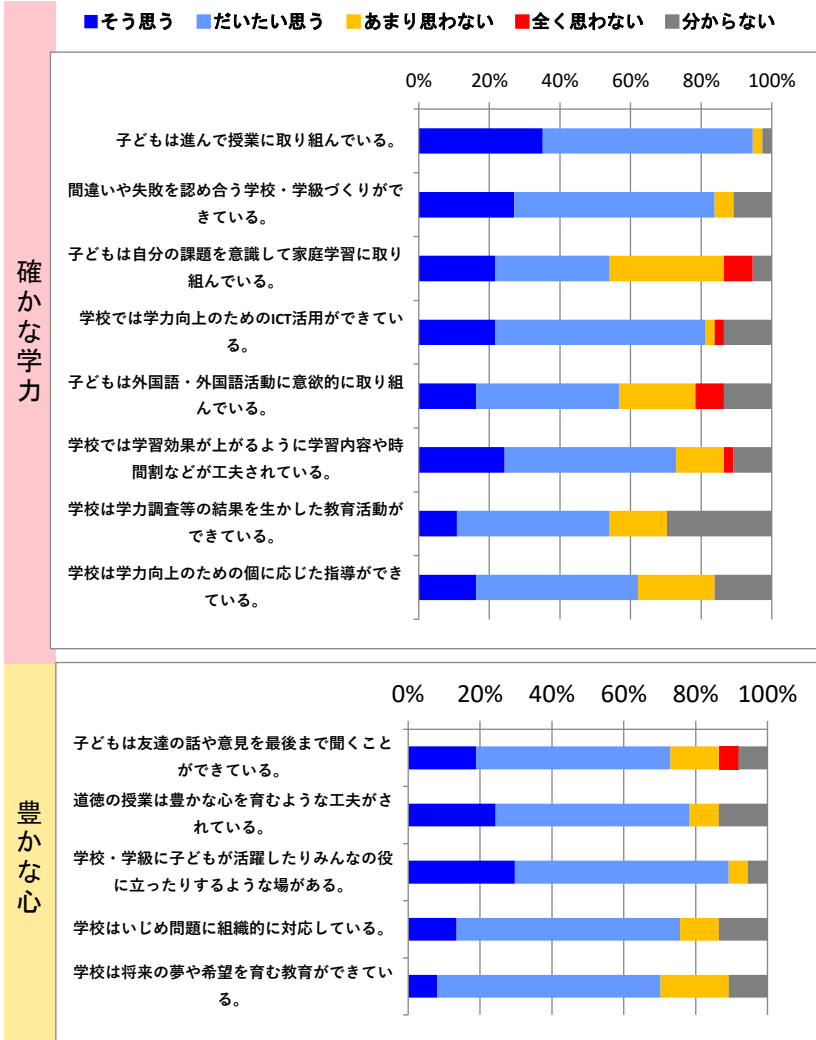
1 児童・保護者・教師の共通項目比較



【分析】

- どの項目も学校運営協議会委員からは比較的良好な評価を得ている。
- 学習に関わる事項及び「きまりを守った安全な生活」については、教師の課題意識が高く見られる。
- 「あいさつ等基本的生活習慣」は、昨年度からの課題であるが、昨年度より若干の改善傾向が見られる。

2 保護者の評価

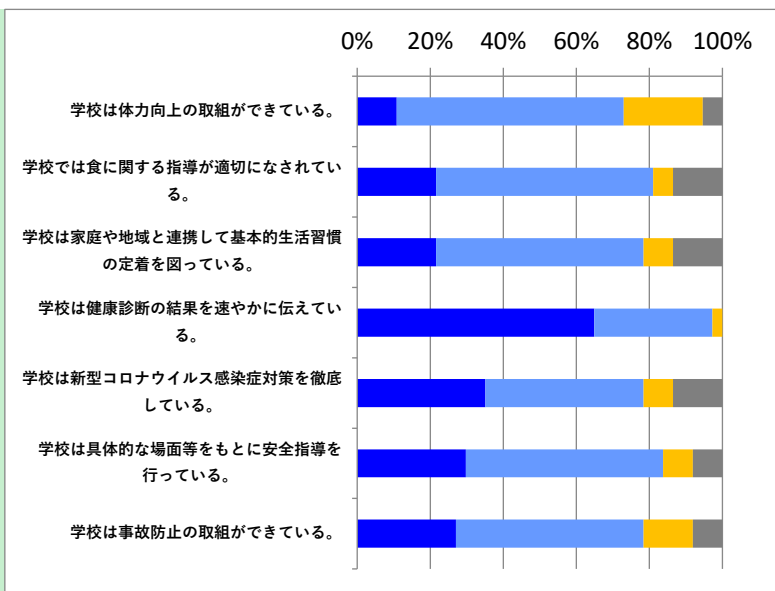


【□分析／■対応】

- 比較的に肯定的評価（「そう思う」「だいたいそう思う」）が多い。
- 「家庭学習」「外国語学習への意欲」「調査結果を生かした教育活動」で「あまり思わない」「まったく思わない」の回答が多い。
- 外国語専科による指導やA L Tの更なる活用により、児童が外国語・外国語活動に意欲的に取り組めるようにする。
- 各種調査等から得られた結果を基に個に応じた声掛けをしたり、それぞれに合ったドリル学習に取り組ませたりすることで学力の向上を図る。

【□分析／■対応】

- 比較的に肯定的評価（「そう思う」「だいたいそう思う」）が多い。
- 「聞くこと」に課題があるとの回答がある。
- 「聞くこと」に関しては、「相手にへそを向けて聞く」「相手の話を最後まで聞く」等、「くまむらっ子三つのめあて」を基に具体的な指導を行う。

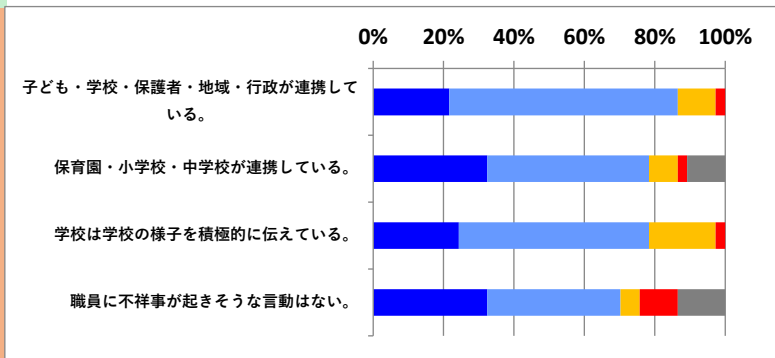


【□分析／■対応】

□比較的に肯定的な回答が多い。

□特に健康診断結果の通知については、高い評価を得ている。

■今後も健康診断や発育測定の結果を速やかにお知らせしたり、健康に関する情報を「ほけんだより」等で提供したりしながら、児童の健康な体づくりのために家庭と連携して取り組む。



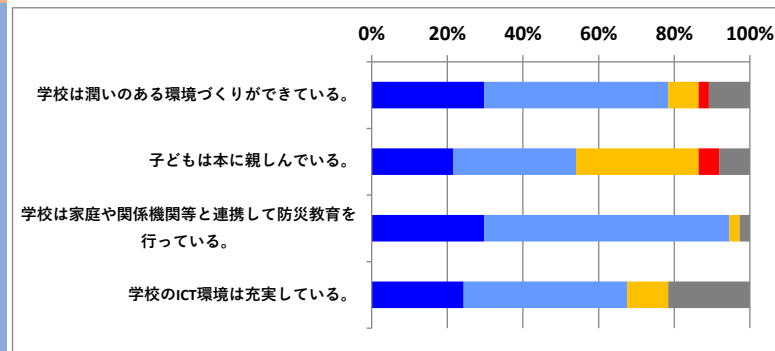
【□分析／■対応】

□いずれの項目も肯定的な評価を得ている。

□一方、どの項目にも「まったく思わない」との回答がある。

■学校だより、学級通信、学校ホームページ等様々な手段で情報を発信していく。

■教職員の日頃の言動を振り返るとともに、人権教育の研修等を通し、意識を高めて改善を図っていく。

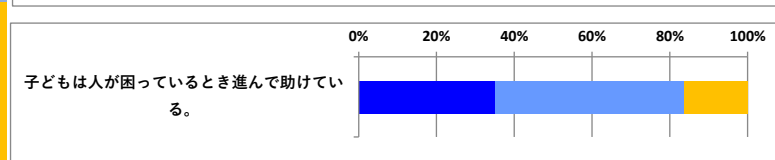


【□分析／■対応】

□比較的に肯定的な回答を得ている。

□「本に親しむこと」に課題が見られる。

■魅力ある図書室設営や読書活動の工夫 家庭との連携等によって本に親しむ機会を増やす。



【□分析／■対応】

□比較的に肯定的な評価が多い。

■今後もあらゆる教育活動を通じて「思いやりの心」の醸成を図っていく。

4 要望等と対応

- ・義務教育学校に向けての取組も少しずつ子供たちに浸透していて、ありがたい。準備等大変だと思うが、今後もよろしくお願いいたします。
- 渡小、球磨中、教育委員会と連携して義務教育学校開校に向けての取組を進めていく。
- ・コロナ対策はしっかりお願いしたい。
- 換気、消毒、3密回避等、感染対策を確実にやっていく。
- ・出来る事ならば、身体測定をもっと増やして欲しい(毎月または2か月など)。病院にかかった際、薬の処方での身長と体重を聞かれるので、その時に答える事ができず困ったため。
- 身長は年4回、体重は隔月で測定を実施し、その都度一人一人に「からだのきろく」を配付している。活用をお願いしたい。